

## 経済産業省 『「未来の教室」実証事業』

### 実証の概要

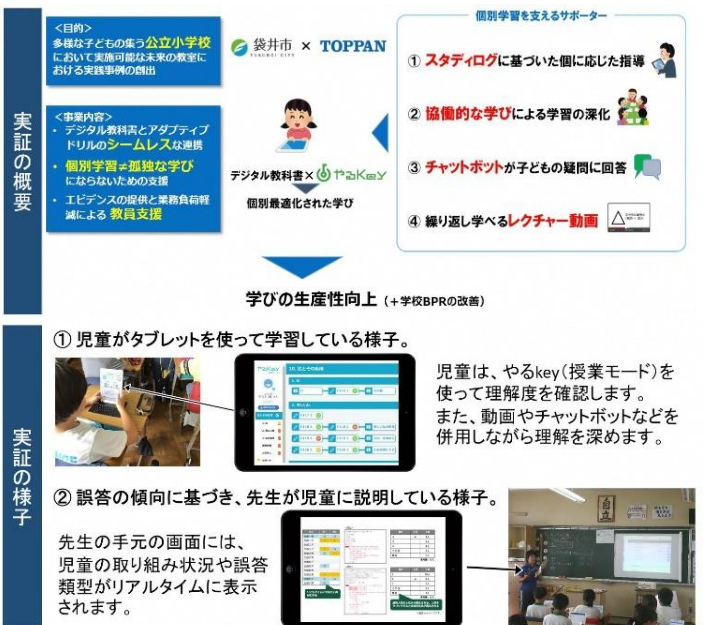
#### (1) ねらい

子どもたち一人ひとりの資質・能力に適した学習を進めるため、タブレットを使った新しいスタイルの授業（＝未来の学び方）を実践し、その効果を検証します。

#### (2) 実施校：袋井市立浅羽北小学校

#### (3) 実施期間：2019年10月～12月

#### (4) 対象生徒：6年生約70人 (一人一台タブレット端末を貸与)



2018年度も同事業に参画しており、袋井市立三川小学校において、教科書の内容をデジタル・ドリルで学ぶサービスを使用し、基礎学習の習熟度を高い水準に維持しつつ、授業時間を圧縮することに成功しました。その結果、教員は捻出された時間を活用し協働学習を実践することで、児童の思考を深める学習を行うことができました。その実証の成果が評価され、今回の採択に至りました。



凸版印刷（株）担当者

～「学びの自立・個別最適化」に関する実証を袋井市と凸版印刷が共同で推進～

### 2019年度「未来の教室」実証事業の全体像

